

出動準備室



防火衣等を着装し、指令内容の確認を行います。また、近年個人装備品が増加し、様々な災害に備えるため、個人用ロッカーの充実を図りました。消防団が参集した際、活動方針などのミーティングを行えるスペースも確保しています。



応接室



妊婦エントリーの登録など来客者の対応に使用しています。

救急消毒室



救急車庫は感染症対策のため、他の消防車両用車庫とは別に区画し、また、救急資器材の交換・補充・消毒などの作業を最小限の動線で完結できるよう、消毒室は、救急車庫に隣接しています。

仮眠室



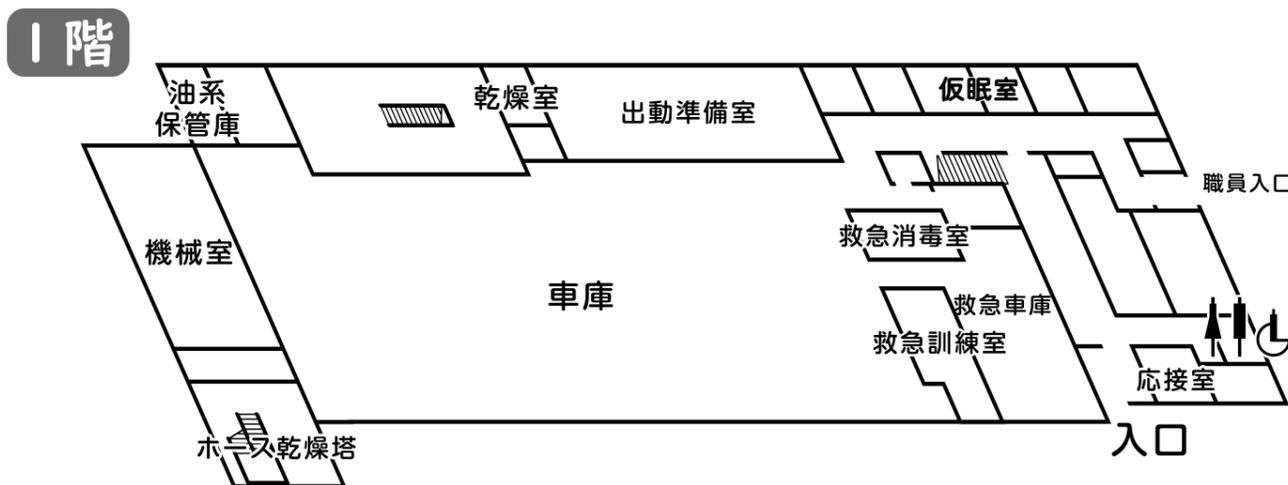
当直隊が交替で使用します。



新消防庁舎をご紹介！

災害の激甚化、頻発化が顕著となったいま、強固な消防体制の構築は、安全・安心なくらしのための必須条件です。

新消防庁舎の建設工事は、昨年に着手し、今年3月15日に完成しました。また、6月には外構工事が竣工し、新消防庁舎の外で訓練ができるようになりました。新消防庁舎には、従来の設備に加え、女性専用スペースや体力練成消防訓練室、収納庫などの新たな機能も追加されています。新消防庁舎の各階の設備や部屋についてご紹介します。



車庫



救急車以外の津別署保有分の緊急車両10台を収容でき、電動シャッターには安全装置が備え付けられています。

また、全車両分の排気装置、防火衣などの洗浄スペース及び乾燥室も完備して

います。車両後方には、消防用ホース20mを伸ばすことができるスペースも確保しています。



**津別消防署
新庁舎建築概要**

敷地面積：4,349.53㎡
 建築面積：1,026.76㎡
 延床面積：1,597.71㎡
 構造：鉄筋コンクリート造
 (耐震構造)2階

ホース乾燥塔

消防用ホースを最大32本掛けられる昇降装置・訓練用のマンホール及び防火水槽を設置しています。また、外観には119サインと懸垂幕昇降装置を設置し、消防署の存在をアピールするとともに町民への広報を目的としています。

